

マニフェスト実現に向けて 新たな組織を編成

マニフェストの実現を図るために、4月1日から新たな組織を設置します。六次産業化を推進するための「六次産業化推進事務局」を新設するほか、全国和牛能力共進会などの対策を推進するための「共進会対策室」を畜産課内に設置します。

新設 六次産業化を推進！ 六次産業化推進事務局を新設

生産、加工、流通、販売の各分野の連携を強化し、六次産業化を進めるため、4月から部に準ずる組織として「六次産業化推進事務局」を設置。専任職員4人（部長級1、課長級1、職員2）を配置し、基幹産業である農林畜産業の活性化を図ります。

六次産業化の推進に当たっては、経営戦略課、森林保全課、農政課、農産園芸課、畜産課、商業観光課、工業振興課の職員からなる「都城市六次産業化推進プロジェクトチーム」を1月に設置し、現状分析や課題の抽出、方向性の検討を進めています。

平成25年度は、プロジェクトチームの検討結果などを踏まえ、六次産業化推進事務局において「六次産業化推進計画の策定」や「六次産業化推進シンポジウムの開催」を通じて関係者の連携強化などに取り組んでいく計画です。

＜六次産業化推進プロジェクトチーム＞

上記プロジェクトチームでは、次の事項について検討中です。任期は平成26年3月までで、市長に随時報告する予定です。

- (1) 六次産業化推進に向けた現状分析および課題の抽出に関する事
- (2) 六次産業化推進に向けた課題の解決策に関する事
- (3) 六次産業化推進の取り組みに向けた関係機関との連携に関する事
- (4) 六次産業化推進構想の策定に関する事
- (5) 六次産業化推進のシンポジウムに関する事
- (6) その他六次産業化の推進に関し必要と認める事項

新設 全国和牛能力共進会などの対策を推進！ 共進会対策室を新設

昨年10月に長崎県で開催された全国和牛能力共進会で、宮崎牛は2大会連続日本一を獲得しました。都城市域からは残念ながら2回連続県代表に選出されていない状況です。

都城市は牛、豚、鶏の算出額は全国トップクラスですが、和牛をはじめとする畜産のブランド価値をより高めていく必要があります。そのため、畜産課内に「共進会対策室」を設け、職員3人（室長は畜産課長が兼務）を配置して畜産共進会に向けた支援体制の強化を図ります。

※平成25年度の全体的な組織の変更につきましては、人事異動と併せて4月の定例記者会見で発表します。